

研究発表

重度・重複障害のある児童生徒の「深い学び」の実現に向けた授業改善～国語，算数・数学の授業作り～



令和3年12月24日
広島県立福山特別支援学校

創立50周年記念イメージキャラクター「フトン」

学校紹介

○広島県立福山特別支援学校 令和3年度学校教育目標
肢体不自由教育を先導し、児童生徒の持てる力を高め、健やかで、自己実現に向けて学び続ける児童生徒を育てます。

表1 医療的ケアを必要とする児童生徒の割合

年度(年)	平成26	平成29	平成30	令和02	令和03
児童生徒数(人)	76	81	80	75	75
医療的ケア対象者(人)	32	40	42	43	43
割合(%)	42.1	49.4	52.5	57.3	57.3

表2 訪問在籍児童生徒数の割合

年度(年)	平成26	平成29	平成30	令和02	令和03
訪問在籍者(人)	6	12	12	14	15
割合(%)	7.9	14.8	15.0	18.7	20.0

表3 本校の教育課程と児童生徒数(令和3年5月1日現在)

	小学部	中学部	高等部	計
I 類型	0	0	3	3
II 類型	4	1	2	7
III 類型	21	13	16	50
IV 類型	9	5	1	15
計	34	19	22	75

研究テーマ

研究発表

重度・重複障害のある児童生徒の「深い学び」の実現に向けた授業改善～国語，算数・数学の授業作り～

令和元・2・3年度の取組

令和元年度
・学習内容表の作成(教育研究部)

令和2年度
・教務部+教育研究部 → 教務研究部
・認知発達初期の国語，算数・数学の学びの配列を整理
→ **学習指導表**

令和3年度
・自立活動を主とする教育課程(Ⅲ類型)で**国語，算数・数学の教科を実施**
・授業実践の蓄積

① 障害の重い子供たちにも教科の学びを

- ・学習指導要領の改訂
- ・教科学習の再検討
※障害の重い児童生徒の将来の生活のイメージ(保護者の願い)できるだけ多くの時間，サービス事業所を利用し，

→**身体・健康に関する力**

多くの人たちと関わりながら，

→**コミュニケーションに関する力**

楽しく豊かにいろいろなことに興味を持って)

暮らしたい(暮らしてほしい)。

→**認知に関する力**

① 障害の重い子供たちにも教科の学びを

令和元年度研究成果

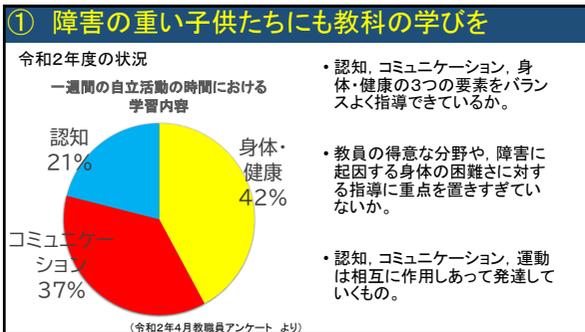
自立活動の学習内容

教科の視点で学習内容を整理

高学年(Ⅰ～Ⅳ)	コミュニケーション	国語・算数	認知
低学年(Ⅰ～Ⅳ)	人間関係	国語・算数	触覚等
Ⅴ～Ⅵ(Ⅰ～Ⅳ)	要求表出	国語・算数	視覚等

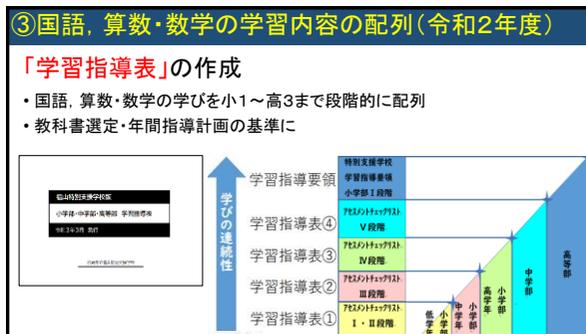
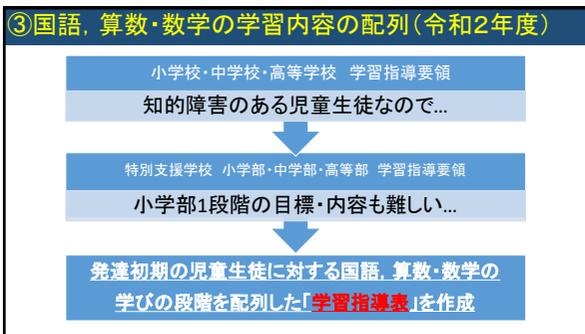
国語 算数

発達初期の児童生徒にとっての国語・算数につながる学習内容の一覧表



② 教育課程を再編成

令和2年度				令和3年度
小学部	中学部	高等部	時間割上の表記 (週配当時間)	教科・時間割上の表記 (週配当時間)
国語	国語	国語		
生活	社会	社会		
音楽	音楽	音楽		
図画工作	美術	美術		
特別の教科 道徳	職業・家庭	職業	生活活動(4)	生活活動(2~3)
	特別の教科 道徳	家庭	※教科等を合わせた指導の形態	
		特別の教科 道徳		
自立活動	自立活動	自立活動	自立活動(個別)(4~7) 自立活動(小(からだ))(2) 中・高(身体・感覚)(2) 自立活動(小(心身からコミュニケーション))(2) 中・高(表現・コミュニケーション))(2)	自立活動(個別)(3~5) 自立活動(2)(からだ・身体) 算数・数学(2) 国語(2)
特別活動	特別活動	特別活動	特別活動(1)	特別活動(1)



学習指導表

学習指導要領の目標

国語

国語(算数)による文章・電文の読解、資料の読み取り、国語(算数)の活用など、国語(算数)の活用をおこなうことができる。

(1) 国語(算数)の活用をおこなうことができる。

(2) 国語(算数)の活用をおこなうことができる。

(3) 国語(算数)の活用をおこなうことができる。

本校の児童・生徒の障害のある児童生徒の「国語」の学びの取組方

コミュニケーションに関する目標・内容

発達初期の児童生徒に対する国語、算数・数学の学びの段階を配列した「学習指導表」を作成

学習指導表

国語

国語(算数)による文章・電文の読解、資料の読み取り、国語(算数)の活用など、国語(算数)の活用をおこなうことができる。

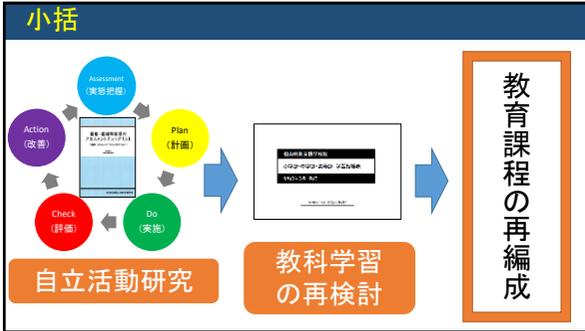
(1) 国語(算数)の活用をおこなうことができる。

(2) 国語(算数)の活用をおこなうことができる。

(3) 国語(算数)の活用をおこなうことができる。

学習指導要領と同様の目標と内容の項目

アセスメントチェックリストの項目にある発達初期の学びを踏まえて内容を作成



- ④ 授業の実践の蓄積・共有(令和3年度)**
- 令和2年度
- ・学習指導表, 学習内容表の活用の推進
 - ・略案様式の改善
- 令和3年度
- ・国語, 算数・数学の**学習指導案様式の作成**・活用
 - ・**研究授業の実施**
 - ・校内授業研究会での**モデル授業**の提案

④ 授業の実践の蓄積・共有(令和3年度)

実践事例① 国語 (中学部1年生)

音楽が止まったことに気付いて「おねがい。」等と要求表出することができる。
(学習指導表 国語④ A聞くこと・話すこと ウ)

音楽が止まった事に気づき、再開する事への期待反応を表情で示すことができる。
(学習指導表 国語② A聞くこと・話すこと ア)

④ 授業の実践の蓄積・共有(令和3年度)

実践事例② 数学 (高等部2年生)

提示されたものに手を伸ばして触れようとするができる。
(学習指導表 算数・数学② A数量の基礎(イ)㉞)

遊んでいたものの位置が変わっても、物を視線で追い、遊び続けることができる。
(学習指導表 算数・数学② A数量の基礎(ア)㉞)

⑤ 総括 成果と課題

<成果>

- 身体・健康に関する力
- コミュニケーションに関する力(国語)
- 認知に関する力(算数・数学)

3つの要素をバランスよく教えることができる教育課程

※令和3年度前期末本校教職員アンケートより

- ・学習指導表, 学習内容表を活用した授業作りの開始
- 理解度 肯定的評価:63%
- 実践度 肯定的評価:61%

⑤ 総括 成果と課題

<課題> ※令和3年度前期末本校教職員アンケートより

- ・国語, 算数・数学の**授業の違い**が分かりにくい
- 指導者が授業で**付けたい力(教科の目標)**を明示できる。

(例)「大きなかぶ」

国語: 掛け声を聞いて、次の展開に期待を示すことができる。
算数: 提示されたかぶに手を伸ばして触ろうとすることができる。

- ・国語, 算数・数学の**単元**で付けたい資質・能力を明確に
- 単元計画**の作成と**学習評価**